

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-102252

(43)Date of publication of application : 09.04.2002

(51)Int.Cl.

A61B 19/02  
B65D 1/34  
B65D 77/08

(21)Application number : 2000-304620

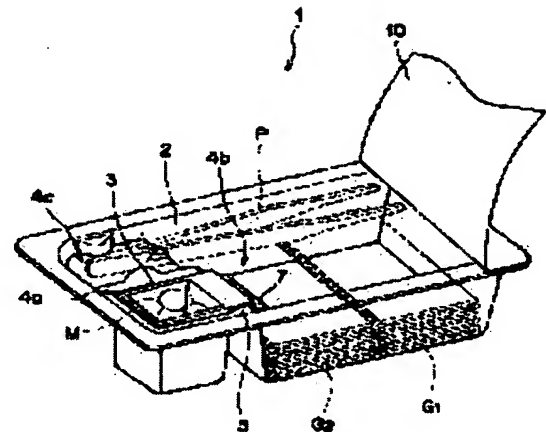
(71)Applicant : HOGI MEDICAL:KK

(22)Date of filing : 04.10.2000

(72)Inventor : KOIZUMI AKIRA  
SATO KARI  
YOSHIHARA YUJI**(54) MEDICAL SUPPLIES STORAGE CONTAINER WITH DETACHABLE TRAY, AND COMBINED ARTICLE STORING MEDICAL SUPPLIES THEREIN****(57)Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a medical supplies storage container reducing the amount of waste requiring disposal as medical waste, without causing inconvenience to medical practice, and to provide a combined article previously storing arbitrary medical supplies therein as a set.

**SOLUTION:** This combined article is manufactured as follows: a container body 2 having recessed sectional areas 4a, 4b, 4c for storing the medical supplies such as tweezers, cotton balls, gauze or the like, is integrally vacuum-molded from a synthetic resin; a tray 3 having a visor 7 allowing a pinch by a pinching tool such as the tweezers, formed at its upper edge 3a, is detachably fitted in at least one of the sectional areas 4a, 4b, 4c formed in the container body 2 to finish the medical supplies storage container 1; and the required medical supplies are stored in the respective sectional areas 4a, 4b, 4c of the container 1, an upper open part is installed and sealed with a sheet-like lid 10 by hot welding, and a sterilization treatment is applied to finish the combined article.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination] 04.10.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3557585

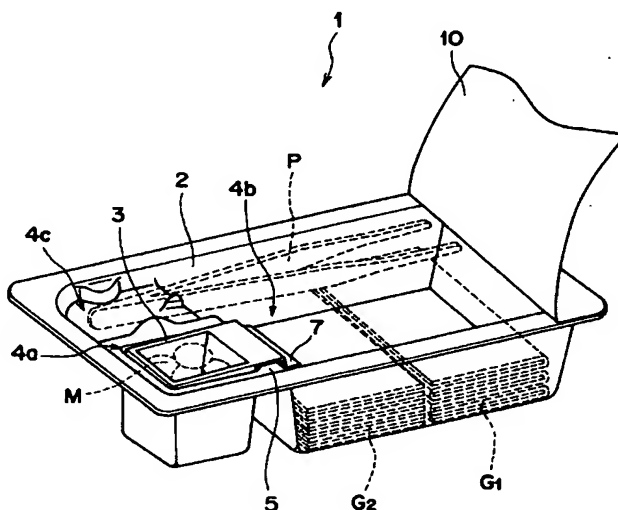
[Date of registration] 28.05.2004

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office



**【特許請求の範囲】**

【請求項 1】 医療用器具や医療用補助品といった医療用品を収納するための区画域を複数有する容器であって、該区画域の少なくとも一つに取り外し可能となるようにトレーを被嵌して設けてなることを特徴とする医療用品収納容器。

【請求項 2】 前記トレーは、区画域に被嵌された際にその周囲の少なくとも一部分にピンセット等の挟持具での側面の挟持を可能とする側面隙間部が形成されるものであることを特徴とする請求項 1 に記載の医療用品収納容器。

【請求項 3】 前記側面隙間部は、該トレーの側面の少なくとも一部分を窪ませることにより形成するものであることを特徴とする請求項 2 に記載の医療用品収納容器。

【請求項 4】 前記トレーは、上縁の少なくとも一部分にピンセット等の挟持具での挟持が可能な底部を有してなることを特徴とする請求項 1 に記載の医療用品収納容器。

【請求項 5】 前記底部は、トレーの内方に向かって張り出すものであることを特徴とする請求項 4 に記載の医療用品収納容器。

【請求項 6】 前記底部は、隣接する区画域側にはみ出すようトレーの外方に向かって張り出すものであることを特徴とする請求項 4 に記載の医療用品収納容器。

【請求項 7】 前記底部は、トレーの外方に向かって張り出してなり、区画域の隔壁上部との間にピンセット等の挟持具での該底部の挟持を可能とする底用隙間部が形成されるものであることを特徴とする請求項 4 に記載の医療用品収納容器。

【請求項 8】 前記底用隙間部は、該底部の下面に突起を設けることにより形成するものであることを特徴とする請求項 7 に記載の医療用品収納容器。

【請求項 9】 前記底用隙間部は、該底部の外縁側に下方沈む段差を設けることにより形成するものであることを特徴とする請求項 7 に記載の医療用品収納容器。

【請求項 10】 前記トレーは、上縁の少なくとも一部分にピンセット等の挟持具での挟持が可能な底部を有してなり、前記容器は、トレーが被嵌される区画域における隔壁上面に、被嵌されたトレーの底部をピンセット等の挟持具で挟持することを可能とするための底用隙間部を形成する突起が設けられてなることを特徴とする請求項 1 に記載の医療用品収納容器。

【請求項 11】 前記トレーは、上縁の少なくとも一部分にピンセット等の挟持具での挟持が可能な底部を有してなり、前記容器は、トレーが被嵌される区画域における隔壁部の少なくとも一部が、被嵌されたトレーの底部をピンセット等の挟持具で挟持することを可能とするために窪んでなることを特徴とする請求項 1 に記載の医療用品収納容器。

【請求項 12】 前記トレーにおけるピンセット等の挟持

具での挟持面には、滑り止め処理が施されてなることを特徴とする請求項 2 乃至 11 の何れかに記載の医療用品収納容器。

【請求項 13】 請求項 1 乃至 12 の何れかに記載の医療用品収納容器内に、ピンセットや綿球等といった任意の医療用器具及び医療用補助品を收容し、開口部を密封し、その後滅菌を施してなることを特徴とする組み合わせ品。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 本願発明は、ピンセットといった任意の医療用器具や綿球、ガーゼ、テープ等といった医療用補助品からなる医療用品を収納するための区画域を複数有する容器と、該容器内に前記医療用品が予めセットとして收容された組み合わせ品に係り、詳しくは、該容器内に収納された医療用品を用いて消毒や、透析開始時の穿刺処置又は透析終了時の返血処置等の医療行為を行った後、使用された該医療用品を含めた容器等の廃棄物を、一般廃棄物と医療用廃棄物とに適正に分けて処理することを容易に成し得るようにした医療用品収納容器と、該容器内に任意の医療用品を予めセットとして收容した組み合わせ品に関するものである。

**【0002】**

【従来の技術】 ピンセットや綿球、ガーゼ等といった任意の医療用器具や医療用補助品からなる医療用品をそれぞれ収納するために、複数に区分された区画域を有する容器は従来から知られ、また、該種々の医療用品を予めセットとして收容した組み合わせ品も知られている。そして、このような組み合わせ品は、一度使用された後は洗浄や消毒等を行って再利用することなくそのまま廃棄されるものである。

**【0003】**

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、該医療用品が予めセットとして收容される容器は、複数に区分されて形成された窪み部からなる区画域内に、それぞれの医療用器具や医療用補助品を単に收容、保管することだけを目的とし、該医療用品の使用後の処理については何等考慮されていないものであった。

【0004】 すなわち、使用された医療用品は、薬液や血液等が付いたものは医療用廃棄物とし、そうでないものは一般廃棄物として分けるとともに、医療用廃棄物はさらに滅菌処理を施すこととしなければならないが、前記容器内に收容された医療用品を用いての消毒や、透析開始時の穿刺処置又は透析終了時の返血処置等の医療行為は、該容器に形成された窪み部からなる区画域内に、直接薬液を注いだり、もしくは薬液や血液が付いた綿球、ガーゼ等を該区画域内に直に收容することとしているため、上述したような単に複数に区分された窪み部からなる区画域が形成された容器の場合、区画域と容器本体とが一体であることから、少しでも薬液や血液

が付いた医療用具はその容器を含めて上述のように全て医療用廃棄物として処理しなければならず、医療用廃棄物の量が非常に多くなってその処理に多くの手間を有する煩わしくかつコストの掛かるものであった。

【0005】本願発明は、このような課題に対処しようとするものであり、医療行為の終了後に煩わしい手間や必要以上のコストを有することなく、かつ、前記医療行為に何ら不都合を生じさせることのない医療用品収納容器と、該容器内に任意の医療用器具及び医療用補助品が予めセットとして収容された組み合わせ品を提供することを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】本願発明は、医療用器具や医療用補助品といった医療用品を収納するための区画域を複数有する容器に対して、薬液を注いだり、もしくは薬液や血液が付いた綿球、ガーゼ等を収容するための専用区画域をその後の処理がし易いように別途設けることとしたものである。

【0007】すなわち、本願発明は、医療用器具や医療用補助品といった医療用品を収納するための区画域を複数有する容器であって、該区画域の少なくとも一つに、薬液を注いだり、もしくは薬液や血液が付いた綿球、ガーゼ等を収容するための専用区画域として、取り外し可能となるようにトレーを被嵌して設けるようにしてなるものである。これにより、取り外し可能なトレーが薬液を直接注いだり、もしくは薬液又は血液が付いた綿球、ガーゼ等を収容するための専用区画域となつて、医療用廃棄物としての総量を減らしてその後の処理がし易くなるようにしたものである。

【0008】なお、本願発明における取り外し可能なトレーは、上述したとおり区画域の少なくとも一つに設けるようにしてなるものであるので、必要に応じて二つ以上の区画域や全ての区画域といった複数の区画域に設けるようにしても何ら差し支えないし、当然、このような態様も本願発明に含まれてなるものである。

【0009】さらに、本願発明における取り外し可能なトレーは、一つの区画域内に一つだけ被嵌して設けるようにしたものに限定されてなるものではなく、同一のトレーや順次小さくなるトレーを複数個重ねて設けるようにしても良く、当然、このような態様も本願発明に含まれてなるものである。

【0010】また、本願発明は、前記トレーが区画域に被嵌された際、該トレーの周囲の少なくとも一部分、すなわち、該トレーの側面と区画域の隔壁面との間に、ピンセット等の挟持具での該トレー側面の挟持を可能とする側面隙間部が形成されるように該トレーを構成することとしたものである。

【0011】この際、該側面隙間部は、トレー側面の少なくとも一部分を全体的にもしくは部分的に内方に向かって窪ませることにより形成されるようにすると良い。

そして、前述するトレー側面の少なくとも一部分を全体（全面）的に内方に向かって窪ませるようにしたものの態様の中には、トレー自体を全体的に区画域より小さく（縮小して）設計することにより、該トレー側面と区画域隔壁面との間に側面隙間部が形成されるようにしたものが当然含まれるものである。

【0012】また、本願発明は、前記トレーの上縁の少なくとも一部分に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部を有するように該トレーを構成することとしたものである。

【0013】この際、底部としては、該トレーの内方に向かって張り出すものとしたり、隣接する区画域側にはみ出すよう該トレーの外方に向かって張り出すものとしたり、該トレーの外方に向かって張り出させ、区画域の隔壁上部との間にピンセット等の挟持具での該底部の挟持を可能とする底用隙間部が形成されるようにしたり、区画域の隔壁上部に係止可能となるような段部が形成されてなるようにした、種々の態様のものが考えられる。

【0014】そして、トレーの外方に向かって張り出させた底部の下部、すなわち、該底部下面と区画域の隔壁上部との間に形成された底用隙間部は、該底部の下面に突起を設けたり、該底部の外縁側に下方沈む段差を設けたりすることにより形成されるようにすると良い。

【0015】以上のように、トレー側面の外側に隙間部が形成されるようにしたり、トレーの上縁部に底部を形成したり、トレーの上縁部に形成された底部の下側に隙間部が形成されるようにすることにより、該トレーの側面や該トレーの上縁部に形成された底部の挟持具を用いての作業が行い易くなり、医療行為終了後の該トレーの取り外しにおいて、該トレーに直に手を触れることなく容易に行うことが出来ることとなる。

【0016】また、本願発明は、前記トレーが上縁の少なくとも一部分にピンセット等の挟持具での挟持が可能な底部を有してなるものの場合に、該トレーの底部を上述のような種々の態様とせず、前記容器を、トレーが被嵌される区画域における隔壁上面に、被嵌されたトレーの底部をピンセット等の挟持具で挟持することを可能とするための底用隙間部を形成する突起が設けられてなるものとしたり、又は、前記容器を、トレーが被嵌される区画域における隔壁部の少なくとも一部が、被嵌されたトレーの底部をピンセット等の挟持具で挟持することを可能とするために窪んでなるものとしてなるものである。

【0017】これにより、底部の態様を上述のようにした種々のトレーと同様に、該トレーの上縁部に形成された底部の挟持具を用いての作業が行い易くなり、医療行為終了後の該トレーの取り外しにおいて、該トレーに直に手を触れることなく容易に行うことが出来ることとなる。

【0018】また、本願発明は、トレーにおけるピンセ

ット等の挟持具での挟持面、すなわち、トレーの側面やトレーの上縁部に形成された底部に、挟持具を用いての作業が滑らず一層行い易くなるように、例えば、線状や点状の凹凸を形成する等の滑り止め処理が施してなるものでもある。

【0019】さらに、本願発明は、上述のように構成した容器を含む医療用品収納容器に、上述のように構成したトレーを具備させ、さらに、これにピンセットや綿球、ガーゼ等といった任意の医療用器具及び医療用補助品を収容し、開口部を密封し、その後滅菌を施してなるようにした組み合わせ品でもある。

【0020】

【実施例】以下、本願発明の一実施例を図面に基づいて説明する。まず、第一の実施例として、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とするとともに、区画域の隔壁上部に係止可能となるような段部が形成されてなる底部を有するトレーを、容器本体の区画域の少なくとも一つに取り外し可能となるように被嵌して設けるようにした本願発明の医療用品収納容器(1)は、図1乃至図3に示すように、医療用品を収容するための窪んだ区画域が形成されるように、ポリプロピレンのような合成樹脂を用いて一体的に真空成形した容器本体(2)と、該容器本体(2)に形成された区画域の一つに対して取り外し可能となるように被嵌して設けたトレー(3)とからなるものである。

【0021】容器本体(2)に形成された区画域は、綿球(M)を収容するための小さい器状の区画域(4a)と、大小二種類のガーゼ(G<sub>1</sub>, G<sub>2</sub>)を一緒に収容するための大きい器状の区画域(4b)と、ピンセット(P)を収容するために浅く窪んだ区画域(4c)とからなる。また、該小さい区画域(4a)と、該大きい区画域(4b)及び浅く窪んだ区画域(4c)とは、隔壁(5)によってそれぞれ完全に区分けされているが、該大きい区画域(4b)と浅く窪んだ区画域(4c)とは特に明確な区分けは無く、段差によって実質上区分けされた状態となっている。

【0022】トレー(3)には、上縁(3a)の少なくとも一部分に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする外側に向かって張り出した底部(7)が設けられており、該底部(7)は、何れの区画域(4a又は4b)に被嵌しても、区画域の隔壁(5)上部に係止可能となる下方に窪んだ段部(9)が形成されている(図3(イ)及び(ロ)参照)。

【0023】このように構成された医療用品収納容器(1)は、所望の医療用品を各区画域内にそれぞれ収容した後、上面開口部にシート状の蓋体(10)を熱溶着により取り付け密封し、さらに、電子滅菌等の滅菌処理を施すことにより、消毒や、透析時の処置が素早く容易に行えるようにした組み合わせ品とされる。

【0024】そして、上述した組み合わせ品は、使用に

際してシート状の蓋体(10)を剥がし、必要に応じて綿球が収容されたトレー(3)の中に薬液をそのまま注いだり、薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等をトレー

(3)の中に収容することとし、その後は直接手(指)を触れることなく、ピンセット等の挟持具を用いてトレー(3)の底部(7)を挟持することにより、容器本体(2)から薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を該トレー(3)ごと取り外すことを可能として、綿球やガーゼ等が収容された該トレー(3)は該挟持具とともに医療用廃棄物として処理する一方、該トレー(3)が取り外された容器本体(2)は一般廃棄物として処理することとする。

【0025】また、本願発明の第二の実施例は、ピンセット等の挟持具での挟持が可能となるような側面を有するトレーを、容器本体の区画域の少なくとも一つに取り外し可能となるように被嵌して設けることにより医療用品収納容器(11)としたものであり、図4及び図5に示すように、前記第一の実施例と同様に成形した容器本体(12)と、該容器本体(12)に形成された区画域の一つに対して取り外し可能となるように被嵌して設けたトレー(13)とからなるものである。

【0026】トレー(13)は、全体的に区画域より小さく(縮小して)設計されたものであり、例えば、容器本体(12)に形成された小さい区画域(14a)内に被嵌した場合、その周囲の少なくとも一部分に、ピンセット等の挟持具の一方先端をトレーの中に配置することで、該挟持具の他方の先端が該トレー(13)の側面(16)と区画域の隔壁(15)との間に挿入することを可能とし、該挟持具によるトレー(13)の側面(16)の挟持を可能とする側面隙間部(18)が形成されるように構成されている。

【0027】そして、このように構成された医療用品収納容器(11)もまた、各区画域内に所望の医療用品がそれぞれ収容された後、上面開口部にシート状の蓋体で密封し、さらに、電子滅菌等の滅菌処理を施すことにより、消毒や、透析時の処置が素早く容易に行えるようにした組み合わせ品とされ、使用に際してはシート状の蓋体を剥がし、必要に応じて綿球が収容されたトレー(13)の中に薬液をそのまま注いだり、薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等をトレー(13)の中に収容することとし、その後は直接手(指)を触れることなく、ピンセット等の挟持具を用いてトレー(13)の側面(16)を挟持することにより、容器本体(12)から薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を該トレー(13)ごと取り外すことを可能として、綿球やガーゼ等が収容された該トレー(13)は該挟持具とともに医療用廃棄物として処理する一方、該トレー(13)が取り外された容器本体(12)は一般廃棄物として処理することとする。

【0028】また、本願発明の第三の実施例もまた、ピンセット等の挟持具での挟持が可能となるような側面を

有するトレーを、容器本体の区画域の少なくとも一つに取り外し可能となるように被嵌して設けることにより医療用品収納容器（２１）としたものであり、図６及び図７に示すように、前記第一の実施例と同様に成形した容器本体（２２）と、該容器本体（２２）に形成された区画域に被嵌される側面が部分的に内方に向かって窪んだトレー（２３）とからなるものである。

【００２９】トレー（２３）は、その側面（２６）の少なくとも一つに内方に向かって窪んだ縦溝状の窪み部（２７）を有しており、例えば、容器本体（２２）に形成された小さい区画域（２４ａ）内に被嵌した場合、ピンセット等の挟持具の一方の先端をトレー（２３）の中に配置し、かつ、該挟持具の他方の先端を該トレー（２３）の側面（２６）に形成された窪み部（２７）と区画域の隔壁（２５）との間に形成された窪み状隙間部（２８）内に挿入することで、該挟持具によるトレー（２３）の側面（２６）の挟持を可能とするように構成されている。

【００３０】そして、このように構成された医療用品収納容器（２１）もまた、各区画域内に所望の医療用品がそれぞれ収容された後、上面開口部をシート状の蓋体で密封し、さらに、電子滅菌等の滅菌処理を施すことにより、消毒や、透析時の処置が素早く容易に行えるようにした組み合わせ品とされ、使用に際してはシート状の蓋体を剥がし、必要に応じて綿球が収容されたトレー（２３）の中に薬液をそのまま注いだり、薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等をトレー（２３）の中に収容することとし、その後は直接手（指）を触れることなく、ピンセット等の挟持具を用いてトレー（２３）の側面（２６）を挟持することにより、容器本体（２２）から薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を該トレー（２３）ごとに取り外すことを可能として、綿球やガーゼ等が収容された該トレー（２３）は該挟持具とともに医療用廃棄物として処理する一方、該トレー（２３）が取り外された容器本体（２２）は一般廃棄物として処理することとする。

【００３１】また、本願発明の第四の実施例は、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部を有するトレーを、容器本体の区画域の少なくとも一つに取り外し可能となるように被嵌して設けることにより医療用品収納容器（３１）としたものであり、図８及び図９に示すように、前記第一の実施例と同様に成形した容器本体（３２）と、該容器本体（３２）に形成された区画域の一つに対して取り外し可能となるように被嵌して設けたトレー（３３）とからなるものである。

【００３２】トレー（３３）には、上縁（３３ａ）の少なくとも一部分に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部（３７）が、該トレーの内方（すなわち、開口上面）に向かって張り出すように設けられており、例えば、容器本体（３２）に形成された小さい区画域（３４ａ）内に被嵌した場合、ピンセット等の挟持具の一方の先端をトレーの内側に配置するとともに該挟持具

の他方の先端を該トレーの外側に配置すること、すなわち、該挟持具の一方の先端を該底部（３７）の下方に配置するとともに該挟持具の他方の先端を該底部（３７）の上方配置することで、該挟持具によるトレー（３３）の底部（３７）の挟持を可能とするように構成されている。

【００３３】そして、このように構成された医療用品収納容器（３１）もまた、各区画域内に所望の医療用品がそれぞれ収容された後、上面開口部をシート状の蓋体で密封し、さらに、電子滅菌等の滅菌処理を施すことにより、消毒や、透析時の処置が素早く容易に行えるようにした組み合わせ品とされ、使用に際してはシート状の蓋体を剥がし、必要に応じて綿球が収容されたトレー（３３）の中に薬液をそのまま注いだり、薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等をトレー（３３）の中に収容することとし、その後は直接手（指）を触れることなく、ピンセット等の挟持具を用いてトレー（３３）の上縁に設けられた底部（３７）を挟持することにより、容器本体（３２）から薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を該トレー（３３）ごとに取り外すことを可能として、綿球やガーゼ等が収容された該トレー（３３）は該挟持具とともに医療用廃棄物として処理する一方、該トレー（３３）が取り外された容器本体（３２）は一般廃棄物として処理することとする。

【００３４】また、本願発明の第五の実施例もまた、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部を有するトレーを、容器本体の区画域の少なくとも一つに取り外し可能となるように被嵌して設けることにより医療用品収納容器（４１）としたものであり、図１０及び図１１に示すように、前記第一の実施例と同様に成形した容器本体（４２）と、該容器本体（４２）に形成された区画域の一つに対して取り外し可能となるように被嵌して設けたトレー（４３）とからなるものである。

【００３５】トレー（４３）には、上縁（４３ａ）の少なくとも一部分に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部（４７）が、該トレーの外方に向かって大きく張り出すように（すなわち、隣接する区画域側にはみ出すように）設けられており、例えば、容器本体（４２）に形成された小さい区画域（４４ａ）内に被嵌した場合、隣接する区画域と該区画域（４４ａ）とを区分けする隔壁（４５）の上部に載置された状態となる該底部（４７）の下方にピンセット等の挟持具の一方先端を配置するとともに、該底部（４７）の上方に該挟持具の他方の先端を配置することで、該挟持具によるトレー（４３）の底部（４７）の挟持を可能とするように構成されている。

【００３６】そして、このように構成された医療用品収納容器（４１）もまた、各区画域内に所望の医療用品がそれぞれ収容された後、上面開口部をシート状の蓋体で密封し、さらに、電子滅菌等の滅菌処理を施すことによ



り、消毒や、透析時の処置が素早く容易に行えるようにした組み合わせ品とされ、使用に際してはシート状の蓋体を剥がし、必要に応じて綿球が収容されたトレー（４３）の中に薬液をそのまま注いだり、薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等をトレー（４３）の中に収容することとし、その後は直接手（指）に触れることなく、ピンセット等の挟持具を用いてトレー（４３）の上縁に設けられた底部（４７）を挟持することにより、容器本体（４２）から薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を該トレー（４３）ごと取り外すことを可能として、綿球やガーゼ等が収容された該トレー（４３）は該挟持具とともに医療用廃棄物として処理する一方、該トレー（４３）が取り外された容器本体（４２）は一般廃棄物として処理することとする。

【００３７】また、本願発明の第六の実施例は、区画域の隔壁上部との間に隙間部を形成することによりピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部を有するトレーを、容器本体の区画域の少なくとも一つに取り外し可能となるように被嵌して設けることにより医療用品収納容器（５１）としたものであり、図１２及び図１３に示すように、前記第一の実施例と同様に成形した容器本体（５２）と、該容器本体（５２）に形成された区画域の一つに対して取り外し可能となるように被嵌して設けたトレー（５３）とからなるものである。

【００３８】トレー（５３）には、上縁（５３ａ）の少なくとも一部分に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする外側に向かって張り出した底部（５７）が設けられており、該底部（５７）の下面に下向きに突出する突起部（５９）が設けられており、例えば、容器本体（５２）に形成された小さい区画域（５４ａ）内に被嵌した場合、隣接する区画域（５４ｂ）と区画を区分けする隔壁（５５）の上部に該底部（５７）の突起部（５９）が載置されることで、該隔壁（５５）の上部と該底部（５７）の下面との間に底用隙間部（５８）が形成され、該底部（５７）の下方の底用隙間部（５８）にピンセット等の挟持具の一方先端を配置するとともに、該底部（５７）の上方に該挟持具の他方の先端を配置することで、該挟持具によるトレー（５３）の底部（５７）の挟持を可能とするように構成されている。

【００３９】そして、このように構成された医療用品収納容器（５１）もまた、各区画域内に所望の医療用品がそれぞれ収容された後、上面開口部をシート状の蓋体で密封し、さらに、電子滅菌等の滅菌処理を施すことにより、消毒や、透析時の処置が素早く容易に行えるようにした組み合わせ品とされ、使用に際してはシート状の蓋体を剥がし、必要に応じて綿球が収容されたトレー（５３）の中に薬液をそのまま注いだり、薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等をトレー（５３）の中に収容することとし、その後は直接手（指）に触れることなく、ピンセット等の挟持具を用いてトレー（５３）の上縁に設けら

れた底部（５７）を挟持することにより、容器本体（５２）から薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を該トレー（５３）ごと取り外すことを可能として、綿球やガーゼ等が収容された該トレー（５３）は該挟持具とともに医療用廃棄物として処理する一方、該トレー（５３）が取り外された容器本体（５２）は一般廃棄物として処理することとする。

【００４０】また、本願発明の第七の実施例もまた、区画域の隔壁上部との間に隙間部を形成することによりピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部を有するトレーを、容器本体の区画域の少なくとも一つに取り外し可能となるように被嵌して設けることにより医療用品収納容器（６１）としたものであり、図１４及び図１５に示すように、前記第一の実施例と同様に成形した容器本体（６２）と、該容器本体（６２）に形成された区画域の一つに対して取り外し可能となるように被嵌して設けたトレー（６３）とからなるものである。

【００４１】トレー（６３）には、上縁（６３ａ）の少なくとも一部分に、区画域の隔壁（６５）上部に載置して外側に向かって張り出した底部（６７）が、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とするように途中に上方に突出した段差部（６９）を介して形成されており、例えば、容器本体（６２）に形成された小さい区画域（６４ａ）内に被嵌した場合、隣接する区画域と該区画域（６４ａ）とを区分けする隔壁（６５）の上部に該底部（６７）が載置されることで、途中に形成された段差部（６９）によって該隔壁（６５）の上部と該底部（６７）の下面との間に底用隙間部（６８）が形成され、該底部（６７）の下方の底用隙間部（６８）にピンセット等の挟持具の一方先端を配置するとともに、該底部（６７）の上方に該挟持具の他方の先端を配置することで、該挟持具によるトレー（６３）の底部（６７）の挟持を可能とするように構成されている。

【００４２】そして、このように構成された医療用品収納容器（６１）もまた、各区画域内に所望の医療用品がそれぞれ収容された後、上面開口部をシート状の蓋体で密封し、さらに、電子滅菌等の滅菌処理を施すことにより、消毒や、透析時の処置が素早く容易に行えるようにした組み合わせ品とされ、使用に際してはシート状の蓋体を剥がし、必要に応じて綿球が収容されたトレー（６３）の中に薬液をそのまま注いだり、薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等をトレー（６３）の中に収容することとし、その後は直接手（指）に触れることなく、ピンセット等の挟持具を用いてトレー（６３）の上縁に設けられた底部（６７）を挟持することにより、容器本体（６２）から薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を該トレー（６３）ごと取り外すことを可能として、綿球やガーゼ等が収容された該トレー（６３）は該挟持具とともに医療用廃棄物として処理する一方、該トレー（６３）が取り外された容器本体（６２）は一般廃棄物として処理す



ることとする。

【0043】さらに、本願発明の第八の実施例もまた、前記第四の実施例及び第五の実施例と同様に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部を有するトレーを、容器本体の区画域の少なくとも一つに取り外し可能となるように被嵌して設けることにより医療用品収納容器(71)としたものであり、図16に示すように、前記第一の実施例と同様に成形した容器本体(72)と、該容器本体(72)に形成された区画域の一つに対して取り外し可能となるように被嵌して設けたトレー(73)とからなるものである。

【0044】トレー(73)には、上縁(73a)の少なくとも一部分に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部(77)が、該トレーの外方に向かって張り出すように設けられており、例えば、容器本体(72)に形成された大きい区画域(74b)内に被嵌した場合、ピンセット等の挟持具の一方先端を底部(77)の下方に配置するとともに該挟持具の他方の先端を該底部(77)の上方に配置することで、該挟持具によるトレー(73)の底部(77)の挟持を可能とするように構成されている。

【0045】そして、このように構成された医療用品収納容器(71)もまた、各区画域内に所望の医療用品がそれぞれ収容された後、上面開口部をシート状の蓋体で密封し、さらに、電子滅菌等の滅菌処理を施すことにより、消毒や、透析時の処置が素早く容易に行えるようにした組み合わせ品とされ、使用に際してはシート状の蓋体を剥がし、必要に応じて綿球が収容されたトレー(73)の中に薬液をそのまま注いだり、薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等をトレー(73)の中に収容することとし、その後は直接手(指)を触れることなく、ピンセット等の挟持具を用いてトレー(73)の上縁に設けられた底部(77)を挟持することにより、容器本体(72)から薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を該トレー(73)ごと取り外すことを可能として、綿球やガーゼ等が収容された該トレー(73)は該挟持具とともに医療用廃棄物として処理する一方、該トレー(73)が取り外された容器本体(72)は一般廃棄物として処理することとする。

【0046】また、本願発明の第九の実施例は、前記第六の実施例と同様に、上縁の少なくとも一部分にピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部を有するトレーにおける該底部と、該トレーの底部が載置されるように配置される容器本体における区画域の隔壁上部との間に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする応用隙間部が形成されるように、該トレーを区画域に取り外し可能となるように被嵌して設けることにより医療用品収納容器(81)としたものであり、図17及び図18に示すように、医療用品を収納するための窪んだ区画域が複数形成された容器本体(82)と、該容器本体(8

2)に形成された区画域の一つに対して取り外し可能となるように被嵌して設けたトレー(83)とからなるものである。

【0047】容器本体(82)は、トレー(83)が被嵌される区画域(84a)における隔壁(85)上面に、被嵌されたトレー(83)の底部(87)が載置することにより、ピンセット等の挟持具で挟持することを可能とするための応用隙間部(88)を形成される突起(89)が複数設けられている。

【0048】トレー(83)には、上縁(83a)の少なくとも一部分に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする外側に向かって張り出した底部(87)が設けられており、例えば、容器本体(82)に形成された小さい区画域(84a)内に被嵌した場合、隣接する区画域(84b)と区画を区分けする隔壁(85)の上部に該トレー(83)の底部(87)が載置されることで、該隔壁(85)の上部に設けられた突起部(89、89)と該底部(87)の下面との間に応用隙間部(88)が形成され、該底部(87)の下方の応用隙間部(88)にピンセット等の挟持具の一方先端を配置するとともに、該底部(87)の上方に該挟持具の他方の先端を配置することで、該挟持具によるトレー(83)の底部(87)の挟持を可能とするように構成されている。

【0049】そして、このように構成された医療用品収納容器(81)もまた、各区画域内に所望の医療用品がそれぞれ収容された後、上面開口部をシート状の蓋体で密封し、さらに、電子滅菌等の滅菌処理を施すことにより、消毒や、透析時の処置が素早く容易に行えるようにした組み合わせ品とされ、使用に際してはシート状の蓋体を剥がし、必要に応じて綿球が収容されたトレー(83)の中に薬液をそのまま注いだり、薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等をトレー(83)の中に収容することとし、その後は直接手(指)を触れることなく、ピンセット等の挟持具を用いてトレー(83)の上縁に設けられた底部(87)を挟持することにより、容器本体(82)から薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を該トレー(83)ごと取り外すことを可能として、綿球やガーゼ等が収容された該トレー(83)は該挟持具とともに医療用廃棄物として処理する一方、該トレー(83)が取り外された容器本体(82)は一般廃棄物として処理することとする。

【0050】また、本願発明の第十の実施例もまた、前記第九の実施例と同様に、上縁の少なくとも一部分にピンセット等の挟持具での挟持を可能とする底部を有するトレーにおける該底部と、該トレーの底部が載置されるように配置される容器本体における区画域の隔壁上部との間に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする応用隙間部が形成されるように、該トレーを区画域に取り外し可能となるように被嵌して設けることにより医療用

品収納容器（９１）としたものであり、図１９及び図２０に示すように、医療用品を収納するための窪んだ区画域が複数形成された容器本体（９２）と、該容器本体（９２）に形成された区画域の一つに対して取り外し可能となるように被嵌して設けたトレー（９３）とからなるものである。

【００５１】容器本体（９２）は、トレー（９３）が被嵌される区画域（８４ａ）における隔壁部（９５）の少なくとも一部が、被嵌されたトレー（９３）の底部（９７）をピンセット等の挟持具で挟持することを可能とするために切欠されたように窪んで構成されている。

【００５２】トレー（９３）には、上縁（９３ａ）の少なくとも一部分に、ピンセット等の挟持具での挟持を可能とする外側に向かって張り出した底部（９７）が設けられており、例えば、容器本体（９２）に形成された小さい区画域（９４ａ）内に被嵌した場合、該底部（９７）が、隣接する区画域（９４ｂ）と区画を区分けする隔壁（９５）が一部切欠されるように構成された窪み部（９５ａ）内に配置されることで、該隔壁（９５）の上部と該底部（９７）の下面との間に応用隙間部（９８）が形成され、該底部（９７）の下方の応用隙間部（９８）にピンセット等の挟持具の一方先端を配置するとともに、該底部（９７）の上方に該挟持具の他方の先端を配置することで、該挟持具によるトレー（９３）の底部（９７）の挟持を可能とするように構成されている。

【００５３】なお、該底部（９７）には、外側に向かって張り出す途中で下方に窪む段部（９９）が形成されており、該底部（９７）に対してピンセット等の挟持具を深く（奥まで）挟持することで、該段部（９９）を構成する曲折角突部（９９ａ，９９ｂ）によって該挟持具の先端が確実に係止され、誤って該挟持具の先端から該底部（９７）が滑って抜け落ちることのないように考慮されている。

【００５４】また、該底部（９７）は、該段部（９９）を両側部で一部切欠されたように構成することで、その両隅部に広幅底部（９７ａ）を形成しており、ピンセット等の挟持具での挟持がし易くなるように考慮している。

【００５５】そして、このように構成された医療用品収納容器（９１）もまた、各区画域内に所望の医療用品がそれぞれ収容された後、上面開口部をシート状の蓋体で密封し、さらに、電子滅菌等の滅菌処理を施すことにより、消毒や、透析時の処置が素早く容易に行えるようにした組み合わせ品とされ、使用に際してはシート状の蓋体を剥がし、必要に応じて綿球が収容されたトレー（９３）の中に薬液をそのまま注いだり、薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等をトレー（９３）の中に収容することとし、その後は直接手（指）を触れることなく、ピンセット等の挟持具を用いてトレー（９３）の上縁に設けられた底部（９７）を挟持することにより、容器本体（９

２）から薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を該トレー（９３）ごとに取り外すことを可能として、綿球やガーゼ等が収容された該トレー（９３）は該挟持具とともに医療用廃棄物として処理する一方、該トレー（９３）が取り外された容器本体（９２）は一般廃棄物として処理することとする。

【００５６】さらに、前記各実施例においては、上記第十の実施例において設けた滑り止め段部（９９）と同様の目的で、消毒や透析処置等の医療行為の終了後に行うピンセット等の挟持具を用いての容器本体からのトレーを取り外し作業の際に、誤ってピンセット等の挟持具の先端からトレーが滑って抜け落ちることのないように、容器本体に形成された区画域の一つに対して取り外し可能となるように被嵌して設けるトレーにおけるピンセット等の挟持具で挟持する挟持面に滑り止め処理を施すこととしても良い。そして、その手段としては、図２１に示すように、ピンセット等の挟持具で挟持することとなる挟持面、例えば、底部（１０７）に、予め線状（リブ状）の凹凸を形成することとしたトレー（１０３）としたり、又は、図２２に示すように、底部（１１７）に、予め点状の凹凸を形成することとしたトレー（１１３）としたりする。

【００５７】そして、線状や点状の滑り止め処理を施すこととするピンセット等の挟持具で挟持することとなる挟持面は、上述のようなトレーの底部に限らず、該挟持具で挟持することとなるのであればトレーの側面部であっても当然良く、本願発明はこのような態様をも含めて意図するものである。

【００５８】

【発明の効果】以上のように本願発明によれば、容器本体における区画域に取り外し可能なトレーを被嵌して設けたことにより、大きく嵩張る容器本体全体を医療用廃棄物として処理する必要なく、小さいトレーだけを医療用廃棄物として処理することで、医療用廃棄物の量が非常に少なくなるとともに、その処理に有する煩わしい手間とその処理に掛かるコストが軽減されることとなる。

【００５９】また、本願発明における容器は、トレーを外すことにより該トレーが被嵌されていた区画域が自由に使用することが可能となるので、トレー内に薬液を注いだ場合に、トレーを外した該区画域を薬液や血液が付いた綿球やガーゼ等を収容することに用いたり、他の薬液を注ぐことに用いたりすることで、他の容器類を汚すことなく効率的に使用することが可能となる。

【００６０】しかも、本願発明における容器及び組み合わせ品は、消毒や透析処置等の医療行為に対して何ら不都合を生じさせることのないものである。

【図面の簡単な説明】

【図１】 本願発明における医療用品収納容器の第一の実施例を示す斜視図。

【図２】 【図１】に示した本願発明の容器の構造を説

明する斜視図。

【図3】 【図1】に示した本願発明の容器におけるトレーの（イ）第一の被嵌状体を示す縦断側面図、（ロ）第二の被嵌状体を示す縦断側面図。

【図4】 本願発明における医療用品収納容器の第二の実施例の構造を説明する斜視図。

【図5】 【図4】に示した本願発明の容器におけるトレーの被嵌状体を示す平面図。

【図6】 本願発明における医療用品収納容器の第三の実施例の構造を説明する斜視図。

【図7】 【図6】に示した本願発明の容器におけるトレーの被嵌状体を示す平面図。

【図8】 本願発明における医療用品収納容器の第四の実施例の構造を説明する斜視図。

【図9】 【図8】に示した本願発明の容器におけるトレーの被嵌状体を示す縦断側面図。

【図10】 本願発明における医療用品収納容器の第五の実施例の構造を説明する斜視図。

【図11】 【図10】に示した本願発明の容器におけるトレーの被嵌状体を示す縦断側面図。

【図12】 本願発明における医療用品収納容器の第六の実施例の構造を説明する斜視図。

【図13】 【図12】に示した本願発明の容器におけるトレーの被嵌状体を示す縦断側面図。

【図14】 本願発明における医療用品収納容器の第七の実施例の構造を説明する斜視図。

【図15】 【図14】に示した本願発明の容器におけるトレーの被嵌状体を示す縦断側面図。

【図16】 本願発明における医療用品収納容器の第八の実施例の構造を説明する斜視図。

【図17】 本願発明における医療用品収納容器の第九の実施例の構造を説明する斜視図。

【図18】 【図17】に示した本願発明の容器におけるトレーの被嵌状体を示す縦断側面図。

【図19】 本願発明における医療用品収納容器の第十の実施例の構造を説明する斜視図。

【図20】 【図19】に示した本願発明の容器におけるトレーの被嵌状体を示す縦断側面図。

【図21】 本願発明のトレーに設けた滑り止め処理を説明する斜視図。

【図22】 本願発明のトレーに設けた他の滑り止め処理を説明する斜視図。

【符号の説明】

1・・・医療用品収納容器

2・・・容器本体

3・・・トレー

3a・・・上縁

4a・・・小さい区画域

4b・・・大きい区画域

4c・・・窪んだ区画域

5・・・隔壁

7・・・底部

9・・・段部

10・・・蓋体

16、26・・・側面

18、28・・・側面隙間部

27・・・窪み部

58、68、88・・・底面隙間部

59、89・・・突起部

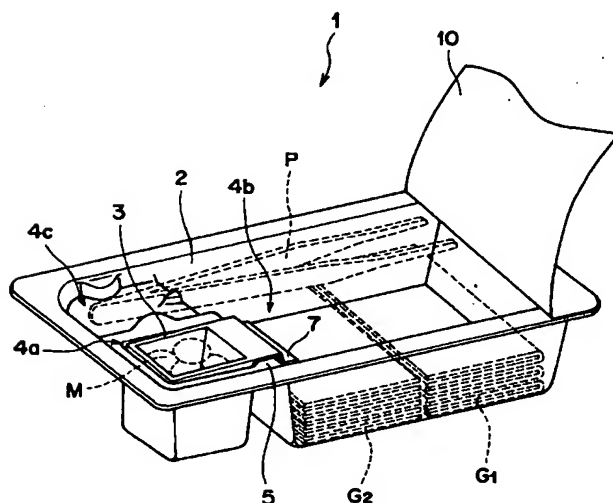
69、99・・・段差部

95a・・・窪み部

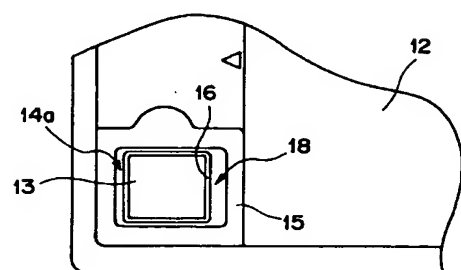
97a・・・広幅底部

99a、99b・・・曲折角突部

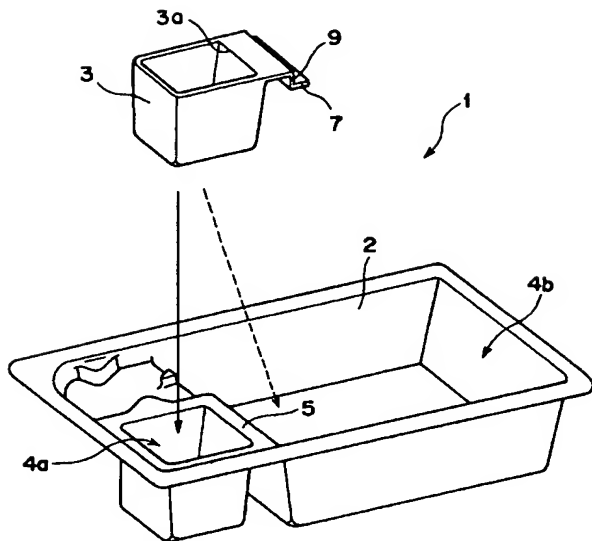
【図1】



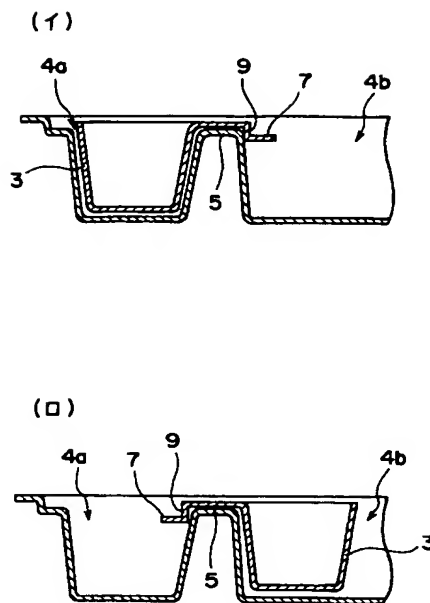
【図5】



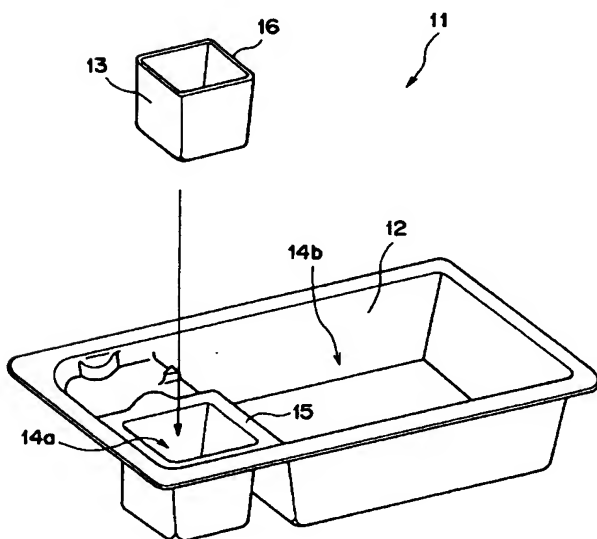
【図2】



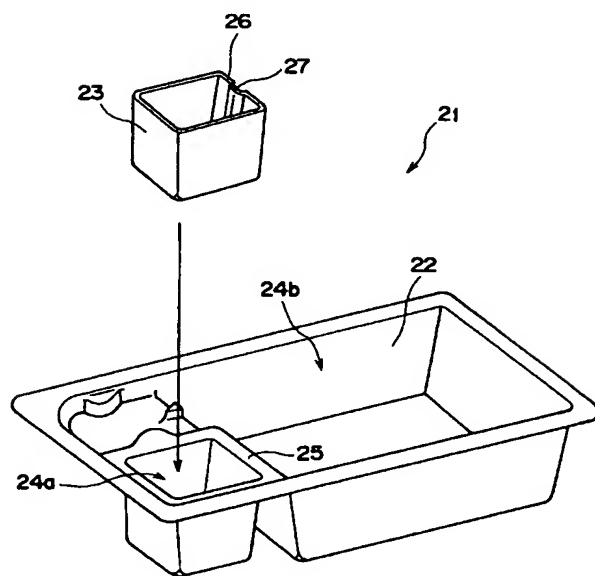
【図3】



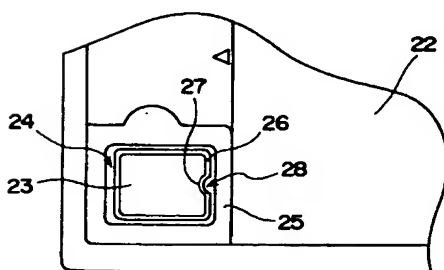
【図4】



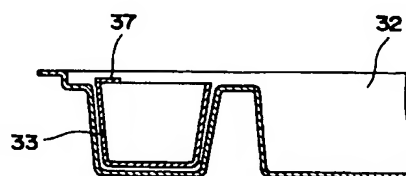
【図6】



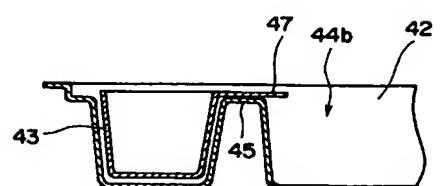
【図7】



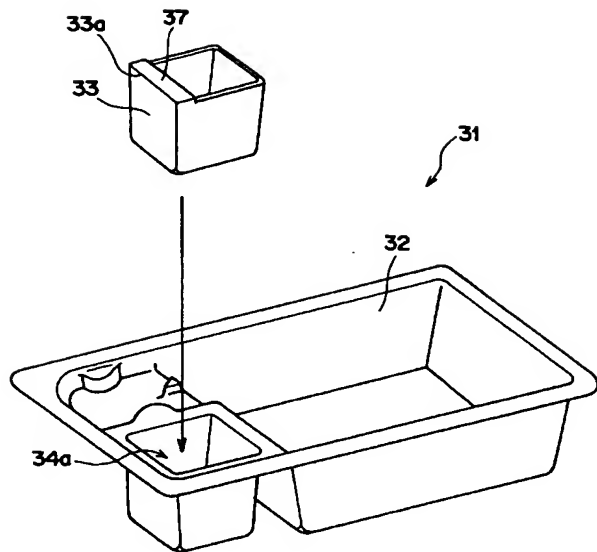
【図9】



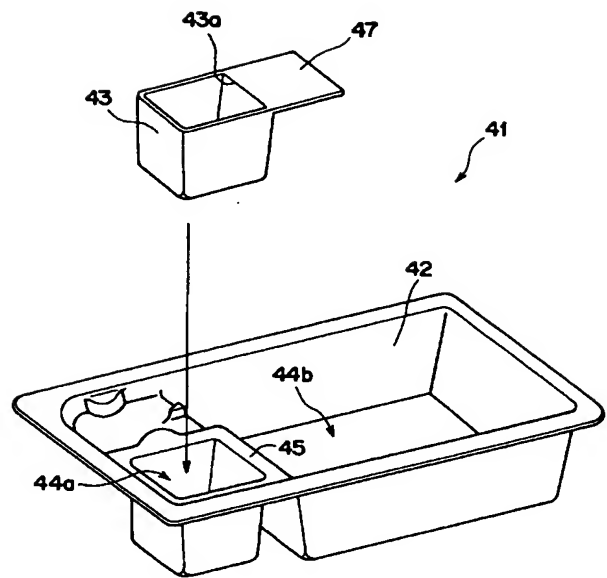
【図11】



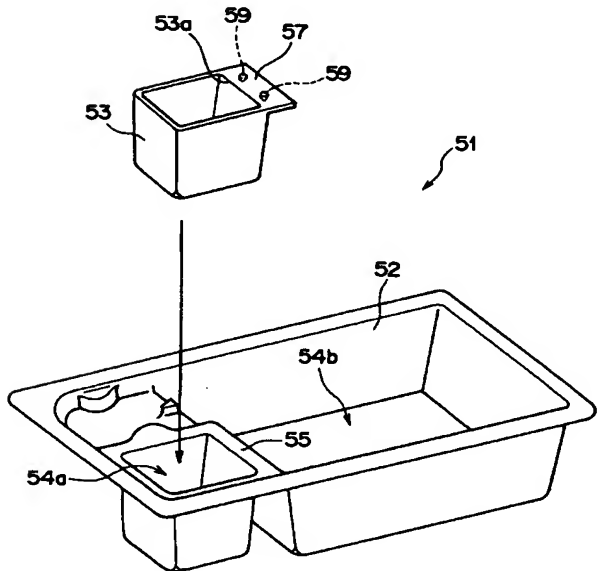
【図8】



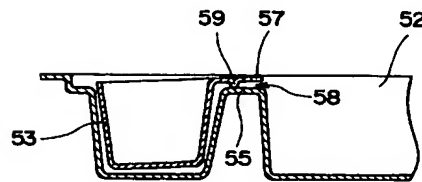
【図10】



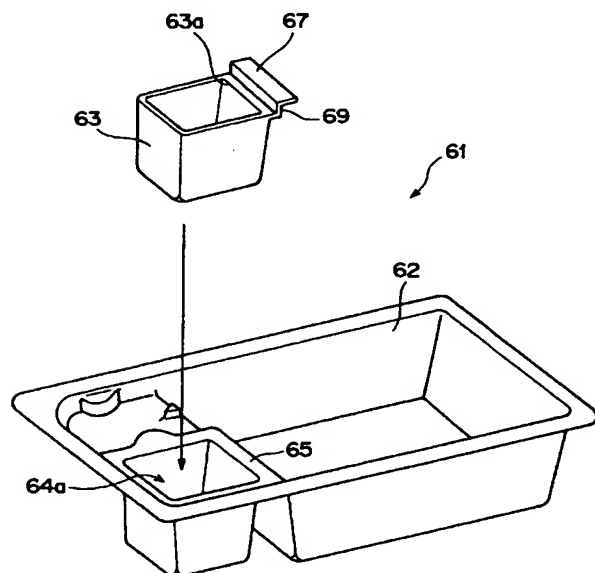
【図12】



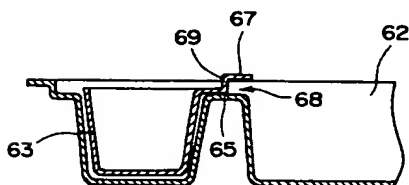
【図13】



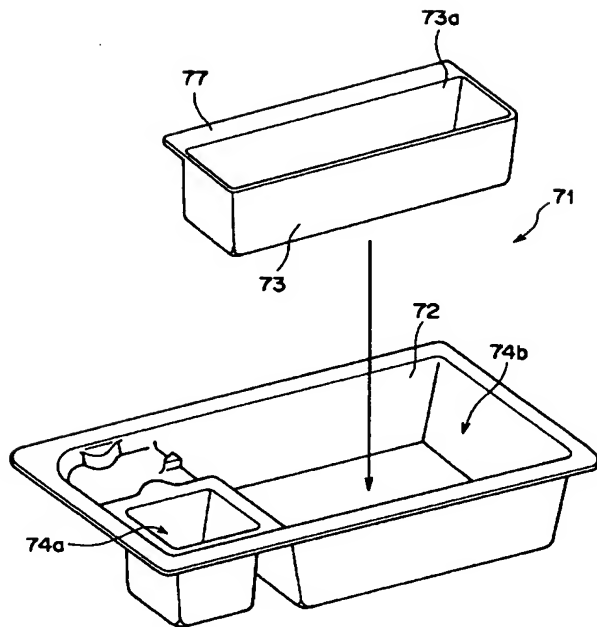
【図14】



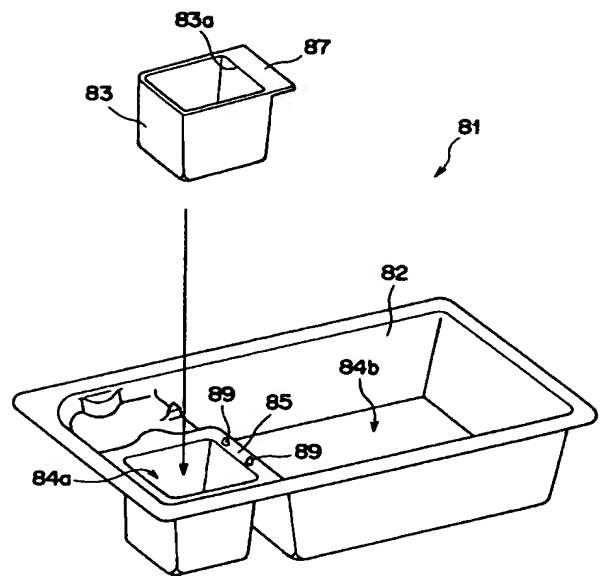
【図15】



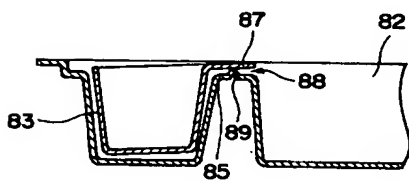
【図16】



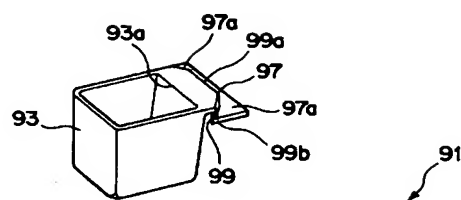
【図17】



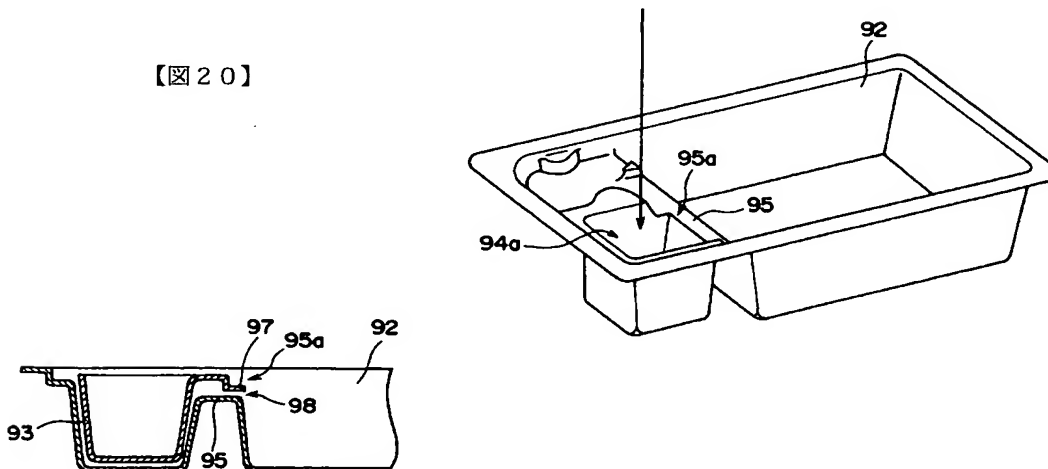
【図18】



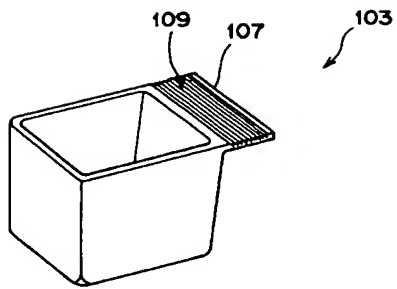
【図19】



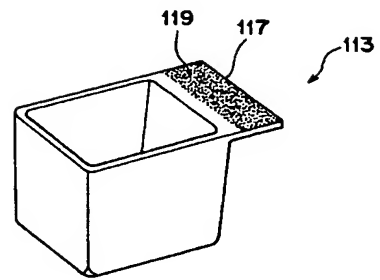
【図20】



【図21】



【図22】



フロントページの続き

(72)発明者 吉原 裕二  
東京都文京区湯島1丁目12番4号 株式会  
社ホギメディカル内

Fターム(参考) 3E033 AA10 BA13 CA20 DE11 FA04  
GA03  
3E067 AA11 AA12 AA14 AA18 AB83  
AC04 BA02A BB14A BC02A  
CA24 EA06 EA29 EB27 FA01  
FC01